



ディフェンスをかわして



きれいなフォームでシュート



さかもと **坂本 みくる** キャプテン(6年生)

学校や学年が違うメンバーだからこそ、みんなの個性を生かして、楽しんでプレーできるチームづくりを心掛けています。

クラブ訪問

255

「昨日よりも一歩前進」

RISE

私たち「RISE」は小学2～6年生の13人で、火・金・土・日曜日に新山小学校の体育館で活動している女子ミニバスケットボールクラブです。

活動は、ダッシュやジャンプなどのフットワークを鍛えるためのトレーニングや基礎練習から始まります。ゲーム形式の練習では、コート内のポジジョン取りなどを意識して取り組んでいます。チームの方針は、前向きに何にでも挑戦すること。

と。コーチからは「昨日よりも一歩前進」することが大切だと言われていて、反復練習を行う中で、一本でも多くシュートが入るようにと、昨日はできなかったことに挑戦するようにしています。また、できるようになったことをみんなで褒め合うことで、試合で一本のシュートをミスしても「さらに5本打ってみよう!」とポジティブな気持ちを持ち続けられています。

誰かの得点の裏には、パスでボールをつなげ、走り回ってスペースを作ってくれたメンバーの協力がある。そういった意識を共有しているので、試合でのチームワークは抜群。練習の合間にはおしゃべりを楽しむなど、和気あいあいとした雰囲気も大切にしています。

6月は大会が控えています。前向きに挑戦する気持ちを忘れず、試合に挑みたいのです。

なかまと一緒に

253

「先の手を読む生涯学習」

将棋クラブ「歩」



戦略を立てながら



慣れた手付きで駒を進める



対局を通して地域の仲間と交流

私たち、将棋クラブ「歩」は、毎月第1、3火曜日に橋賀台公民館で活動している将棋のサークルです。

将棋は、81マスの盤と40枚の駒を使って対局する「本将棋」が有名ですが、「歩」の駒だけを使う「挟み将棋」など、複数の対局方法があります。ルールと駒の動かし方を覚えれば何歳からでも始められるので、年齢や性別に関係なく熱中することができます。子どもの頃から好きで続けている人や、友人に誘われて始めた人、退職後の趣味として覚えた人など、メンバーの経験年数もそれぞれです。

活動では、主に実践形式の本将棋で対局しています。局面だけで判断するのではなく、何手も先を予測しながら戦略を立てるのが、将棋のおもしろいところであり、奥が深いところ。自分の手持ちの駒や盤上の配置に応じて何通りもの策が存在するため、考えても考えても最善の一手が見つけれられるとは限りません。成功と失敗を繰り返しながら腕を磨いていく将棋は、まさに生涯学習に最適です。また、少しでも強くなりたいという気持ちで、活動時間以外には、詰め将棋の参考書やスマートフォン用アプリを使って、こつこつ勉強することもあります。

市民文化祭や近隣の将棋連盟が共催する大会に参加して、メンバー以外の人と対局することも励みになります。勝敗に関わらず対局を楽しみ、時には相手の一手を褒めたり、アドバイスをもらったりしながら、これからも将棋を通じた仲間との交流を続けていきたいと思っています。

スクスクのびのび



あやと 相原 彩人くん

納豆と公園が大好き!毎日元気に走り回っています☆



なかつか ようた 中塚 耀大くん

絵本が大好き!毎日元気いっぱい、笑顔いっぱい遊んでいます!



すずき ゆうか あつと 鈴木 佑佳ちゃん(左)・敦仁くん(右)

追いかっこが大ブーム!たくさんけんかもするけど仲良しです♪

このコーナーには市内在住で5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

- 応募方法
- 応募先
- 問い合わせ先

お子さんの写真・住所・氏名(ふりがな)・生年月日・性別、親の名前、電話番号、30字以内のコメントを郵送またはEメールで広報課へ
〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課
koho@city.narita.chiba.jp (写真データはJPEGで容量1MB以上で送ってください)
広報課 ☎20-1503

517